

2024

同友しずおか2



VOL.543

「入ってよかった」「続けてよかった」「誘ってよかった」「企業も地域もよくなった!」

私の逸品

富士ヶ嶺仁農園

富士山の恵みに満ちた
大自然の中で農作物づくり
の体験

～互いに支えあい、励ましあい、援けあう～

私たちは地域にあってよかったと言われる同友会であり続けます



静岡県中小企業家同友会

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体制の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体制をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

12月・1月の新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1111名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者	氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
あだち せいや 足達 聖也	(株)スマートステイ 貸別荘の運営、不動産売買・賃貸仲介	伊東	土屋 順史	すずき ちえ 鈴木 知恵	(株)アーク LINE広告を使用した集客や業務効率化	静岡	鈴木 彰子
いとう てつお 伊藤 徹郎	(有)伊藤金属総業 金属プレス加工業、主に蝶番を製造	伊東	山崎かおり	なかやま ひでき 中山 秀樹	中山設備工業(株) 管工事	静岡	安本 能章
うつみ はやと 内海 隼人	ブルデンシャル生命保険(株) 生命保険業及びそれに不随する業務	御殿場	込山正一郎	はまだ むつり 濱田 六法	まどか法律事務所 弁護士(企業、個人に対する法的サービスの提供)	静岡	簗 威頼
くぼ かずゆき 久保 和行	(株)フィットコーポレーション 食品パッケージ製造、外食店舗の運営(焼肉よしの、丸源ラーメン、レストランカウベル、カルビ屋ワッショイ)	御殿場	勝俣 智史	ふじわら ゆみ 藤原 有美	KeepFit(株) 健康相談、妊娠中からシニアまでの健康 管理と予防医療、従業員様の健康支援	静岡	事務局 (HPより)
やまだ やすふみ 山田 安史	富士スピードウェイ(株) レジャー、スポーツ施設、各種レースの主催・共催	御殿場	勝俣 智史	まつもと みんぐん 松本 敏度	(株)ゼノンワールド 食品製造、キムチネット販売	静岡	松本 泰治
い で あつし 井出 敦史	ロコブリオ ホームページ制作、動画制作、オン ラインメディア運営、ECサイト構築、 名刺・パンフレット等のデザイン業務	沼津	増岡 重治	あおしまこういちろう 青島康一郎	青島冷凍工業(株) 冷蔵冷蔵設備、空調設備、給排換気設備、クリーンルーム(HACCP 対応、GMP対応等)、恒温恒湿設備、産業用冷熱装置、環境対策、省 エネ対策、VOC処理などの設計・施工・メンテナンス・点検・修理等	志太	水野 芳康
かなざし ただお 金指 忠男	テラス・キャピタルパートナーズ(株) コンサルタント、投資	沼津	石澤 浩一	しまだしんたろう 島田慎太郎	Plus D Architects 建物の設計・監理業務	志太	青島康一郎
もちつき ともこ 望月 智子	Yoga ananda ヨガ教室	富士宮	村野いづみ	とよやま みつり 遠山 光典	(有)遠山建設 注文住宅、リフォーム、施設工事	浜松	江間 省豪
おぎさき やよい 小関 弥生	スマイルファクトリー静岡(株) ホームページ制作、ECサイト制作、運営代行、 広告物作成、各種パソコン講座、発送代行	静岡	稲葉 倫子				

名義変更による新名義人(敬称略)

氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人
えとう あきのり 江藤 彰範	ラウンズコミュニケーション(株) 不動産仲介、買取、販売、賃貸仲介、収益物件仲介	富士	片岡 優斗

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



富士山の恵みに満ちた大自然 の中で農作物づくりの体験

富士ヶ嶺仁農園 (富士宮支部)

代表 渡辺 匡人氏



農業体験で溢れる笑顔



富士ヶ嶺仁農園で収穫されたにんにく

富士山麓の標高1,100メートルの高原に位置する、富士ヶ嶺仁農園の渡辺匡人氏の逸品は、富士山の恵みの大自然の中で農作物づくりの体験です。自身を「プロゴルファー」と「ファーマー」をかけて「プロゴルファーマー」と呼ぶ渡辺氏は誰もが「え？ゴルフト農業？」と聞き返してしまうくらい、興味深い経歴の持ち主です。父親が酪農を営んでいたこともあり、毎日野山を駆け巡る日々を送り、元気にたくましく幼年時代を過ごしました。日曜大工やちよつとした機械操作もお手の物。そんな中、生家の隣がゴルフ場だったこともあって、高校生時代にゴルフに関心を持ち、何事にも集中して決めてやりきる気質の渡辺氏は16歳で「自分はプロゴルファーになる！」と決めました。高校卒業

後はゴルフ場に研修生として働 きながら腕を磨き、26歳でプロゴルファーになり、現在も現役で活躍中です。プロ転向後、30歳まで海外ツアーなどを経て帰国しました。

農作物の魅力に感動し、 農園を立ち上げる

そんな中、ひよんなことから、親戚が育てていた無臭ニンニクを食べた際にあまりの美味しさに感動したこと、そして、時代の流れで酪農を廃業していた父親の土地を承継し活かすことができなかつたかと思ひ、一念発起。ゴルフを続けながら富士ヶ嶺仁農園を立ち上げました。最初は家庭菜園規模からはじめて徐々に農園を大きくし、現在は広大な敷地をフル活用して、にんにくや大豆などの栽培を行っています。また、収穫や加工の際には福祉施設に作業を委託する等農福連携にも力を入れて、自然の中で育った産品を多くの人に届けてきました。

食の大切さを多くの人に伝える 体験型農園を企画

渡辺氏はより多くの人に農業に関わってもらいたいと思ったことから、近年では体験型の農園へのシフトを考え、大人から子どもまで多くの方が参加できる農業体験を企画してきました。



にんにくを使ったバーベキュー

今後はそれをより強化し、植え付けから収穫まで、食の大切さを一貫して体験し、体感できるように力を入れていきたいと考えています。30歳までプロゴルファー一筋、経営をどこかで学んだわけではありませんでした。手探り模索しながらの日々の中、同友会に誘われて入会。それも、静岡同友会、山梨同友会と二足のわらじです。同じ同友会でも、気質の違いはもとより、運営の仕方の違いも大きな勉強になっており、それぞれで学んだことを活かしていきたいとも同氏は語ります。

富士山を核にしてよりよい未来 をつくる

地域やファンの方々を支えられてきたからこそ今の自分がある



渡辺 匡人氏

ると感謝の気持ち忘れないう渡辺氏。農園プラス交流イベント・フェスティバルなども開催したり、バーベキュースペースを作るなど、人との交流を大切にした取り組みも行っています。農村の過疎化も進む中で「富士山を核にした地域と繋がりがながら良い未来を作っていきたい！」と、パワースポット富士山の麓で熱く語る渡辺氏。夢を確かな形にすべく今日も進んでいます。

取材：田邊元裕氏
(株式会社カポス・富士宮支部)

富士ヶ嶺仁農園

〒401-0338

山梨県南都留郡富士河口湖町富士ヶ嶺697

TEL：090-7226-3276

URL：https://fujigane-jin.com/

設立 2020年4月

入会年月 2022年8月

事業内容 プロゴルファーマー、自然サイクル農園

想像（イメージネーション）を
創造（クリエイティブ）する職人集団
（株）シーエフ・アイ

代表取締役 若月厚志氏（富士支部）



乾燥にかかる時間が圧倒的に短くすむ高周波プレス機

サラリーマンから現在に
至るまで

今回は富士市で店舗内装工事や造作家具設計施工、リフォーム工事を行う（株）シーエフ・アイの若月厚志氏の会社を訪れました。

若月氏は鍛冶屋で3年、製紙会社のメンテナンス・保全作業の会社で9年働いたのち、若月氏の父親が経営する富士工芸（現在の（株）シーエフ・アイ）に入社し、現在に至ります。

製紙会社に勤務していた時に、協力会社としてお付き合いがあった同友会会員の方から誘われたことがきっかけで同友会に入会します。例会に出席した時に、サラリーマン時代にお世話になった方や父親を知っている方がいたことに驚いたそうです。

同友会役員を経験しての学び

若月氏の富士支部での経歴としては、支部のグループ長、例会委員長を経て、副支部長を務め、全県経営フォーラムの実行委員も経験しました。フォーラム実行委員を経験した時には支部内で会員と話すのとはまた違う視野で話ができたと同氏。「経営理念と人を生かす経営にもつづいた話が勉強になった。従業員を雇用する際の後



板を切断する機械パネルソー

押しになり、人を生かす経営に結びついた」と話してくれました。

「想像」を「創造」する会社

2023年に法人化し、社名を富士工芸から（株）シーエフ・アイに変更しました。今までは一般住宅の造作家具等の仕事が主だったのですが、店舗工事の割合が多くなり、お客様との信頼関係をより築いていくために現在の社名に変更したと言います。社名の「シーエフ・アイ」は、C（クリエイティブ）F（ファクトリー）I（イメージネーション）を意味しており、2Dから3D（平面図から立体物）を創造する、「想像」を「創造」する会社と言う意味が込められているそうです。

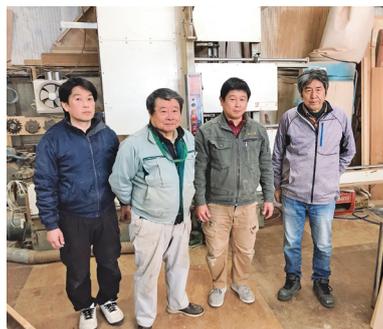
目指すは店舗の
総合プロデュース業

同社は建具・家具製造の職人集団です。製造部門では手加工作業は重要な仕事ですが、できるところは機械化して製品の品質と生産効率を向上していきたいと言います。「社員の雇用・定着も考え、建築業界の厳しい労働環境を改善し、生産力・実行力のある企業になるよう発展していきたい」と展望を語りました。

別事業では、高気密・高断熱住



作業中の会長



若月氏（右から2番目）と社員の皆さん

宅向けの付加価値商品である全館空調システムの設計・施工も手掛けている同氏。富士市にモデルルームもあるそうです。エアコン一台で一軒家をすべて空調する事業と、店舗・リフォーム工事の2本柱で経営していますが、いざいは今までの経験を生かして、店舗の総合プロデュースができるような会社にしていきたいと話されました。

取材・記事：渡邊正仁氏
（有丸之工務店・富士支部）

（株）シーエフ・アイ

〒417-0801 富士市大淵1991-13

TEL：0545-35-5009

設立 2023年

社員数 5名（パート含む）

入会年月 2013年6月

事業内容 店舗内装工事・リフォーム、住宅用全館空調設計
施工

会員訪問記

上質な生活をHappy Lifeとともに
 ～あなたの街のコンシェルジュ～
 Happy Life(株)
 代表取締役 渡邊 啓太氏 (伊東支部)



明るい雰囲気の事務局レイアウトにこだわる

伊東市内で塗装・防水工事、外構、内装リフォーム工事など手掛けるHappy Life(株)代表取締役の渡邊啓太氏を訪問しました。

様々な職種を経て塗装業として創業
 渡邊氏は、サービス業、接客業、塗装業、保険業など様々な職種を

経験したのち2020年に現在の事業形態で創業しました。保険業と塗装業を兼ねていた時期に事業の方向性に悩んでいたところ同友会に出会い、すぐに入会。多くの仲間や先輩たちに想いを伝えたりぶつかったり、時には叱咤激励を受けたりしながら、保険業を受け渡し、現在の事業に集約していきましました。当時を振り返りながら「同友会で異業種の経営者たちと本音で語り合い、本気で学び合うことができ、入会して良かった」と渡邊氏は語ります。

地域密着の「街のコンシェルジュ」

「お客様が快適に暮らすため、困りごとを解決するために何ができるかを考えて仕事をしています」と同氏。伊豆には別荘地が多くあり「別荘をキレイな状態で維持したい」「頻繁に行かないから台風などが来た時に心配」「将来手放す際に少しでも高く売却したい」などのお施主さんから相談を受けて、最近では新規事業として定期的なメンテナンス(外装塗装)の提案をしているそうです。同社が目指すのは「あなたの街のコンシェルジュ」。このスローガンに



渡邊 啓太氏



社員の誕生日をお祝い

は、ホテルのコンシェルジュのように、地域で暮らす人々が安心して快適な生活を送れるような街のコンシェルジュになれるように、との想いが込められています。地域に密着した経営を目指し、保育園や幼稚園、小学校の子どもたちむけにオリジナル鉢植え制作体験(職業体験)イベントも行っています。子どもたちに教えることで、社員の成長にもつながっていると語ります。

組織づくりで心がけていること

社員には失敗を恐れずにいろいろなことにチャレンジしてほしいと社長自らが率先して行動する姿を見せるようにしていると渡邊氏。



子どもたちのペイント体験



社内にて野村氏と

Happy Life(株)

〒414-0052 伊東市十足618-126

TEL : 0557-48-7840

URL : <https://happylife-ito.com>

創業 2020年

社員数 4名

入会年月 2016年1月

事業内容 塗装・防水工事、外構、
 内装リフォーム工事

取材・記事：野村勝也氏
 (株)野村商店・伊東支部

社員の誕生日を一緒に祝ったり、SNSで働いている姿を発信したりと、社員と分け隔てなく接していると言います。また、人材不足の中、さらなる人材育成にも注力「強い体質の会社にしていくため組織づくりに取り組んでいく」と前を向いて明るく語る姿に大いに刺激を受け、Happy Life(株)の未来が楽しみを感じた取材となりました。

県知事・副知事へ 新年挨拶

1月9日(火) 静岡県庁にて、川勝知事をはじめ、出野副知事、森副知事を訪問し、新年の挨拶を行いました。同友会からは、井上代表・兼代表・松葉代表をはじめ7名が出席しました。同友会からは企業づくりや地域づくりへの取り組みに触れながら、2024年11月の「Next50フォーラム」開催のご案内をしました。川勝知事からは、元旦に発生した能登半島地震への支援状況や中小企業の地域社会における役割の重要性についてお話しいただきました。静岡同友会設立50周年を迎える本年も中小企業・小規模企業振興会議への継続的な関わりをはじめ、県行政との連携、協力を深め、より発展的な「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」に取り組んでいきます。



「経営環境分析実践講座」

外部環境分析から企業経営を描こう！

会場：同友会事務局会議室・ZOOM 参加者：61名(会場・ZOOM)

「経営環境分析実践講座」と題し、経済産業省より4名の方をお招きしビッグデータ「REASA」の学習会を開催しました。「REASA」とは、内閣府のまち・ひと・しごと創生本部が運用する産業構造や地域の人口動態、人の流れなどを集約し、可視化したビッグデータで、地域経済分析システムとも言われます。冒頭、井上代表理事より本学習会の主旨を伝え、村瀬一世氏(関東経済産業局地域経済部地域振興課統括補佐)から挨拶を頂き、学習会がスタート。第1部では与五沢浩一氏(経済産業省REASA開発担当)が統計データで経営環境を把握する意義とデータを活用した中小企業の経営戦略を考える重要性を伝えました。第2部の実践講座では渡邊れいら氏(関東経済産業局REASA調査員)の進行のもと、実際に地域経済分析システムREASAを使い、自社のある地域、業界をとりまく環境の分析を行い、経営環境分析シートを作成しました。最後に、経営環境分析シートをどのように企業経営に活かすか、継続して取組んでいくかを田中幸仁氏(同省地域経済産業グループ地域経済産業調査室長補佐)からお話いただきました。当日参加した岸佑里子氏(しあわせの花が咲く(株)・静岡支部)の感想をご紹介します。

【参加者より感想】

経営指針を作成するにあたり、経営環境を正確に理解することは重要です。当社の経営環境は以前より縮小傾向が続いていると言われていますが、実際に何年間で何パーセント減少しているのか、また、それは人口減少のスピードに対してどうなのか、コロナ禍ではどの程度影響を受けたのか、きちんとした数字で見ることができたのは非常に興味深かったです。また、当社の経営環境は他業種と比べてどうかを調べることが、今後の研究材料として面白いかもしれないと感じました。自社の主要顧客の年代が10年後に何パーセント減っているのか、それを補うためには伸びている業種と何かしらの方法で絡んでいくことはできるのか(新規顧客開発や新規事業)、REASAで遊んでいるうちに、新たなことに気が付くかもしれません。より細かいデータが実装されるようになるといいなと思いました。



1月イベントカレンダー

知りあい語りあい励ましあう
同友会の楽しさ・学び・気付きとは
1月26日(金) 同友会会議室&ZOOM

オブザーバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。1月は、2006年に同友会に入会し、2023年度から榛南支部長に就任、全県経営フォーラムに実行委員として関わするなど、多くの会員との出会いや繋がりがから学び実践している(旬)静波オート代表取締役 鈴木茂氏による報告でした。

牧之原市で自動車の販売・整備業を営む同社に婿養子として入社し、事業継承。先代の言動に納得がいかず悩む日々が続く中、先輩経営者に相談したところ「変えられるのは自分と未来。夢を持ちなさい」と言葉をもたらした鈴木氏は次の日から行動を変えていきます。社員を守る覚悟と責任を持ち、一人ひとりと向き合うことを大切にしていると語りました。

グループ討論では「経営環境が変わる中、未来への展望をどう描いているか？」をテーマに、地域における存在意義、自社にしかない強みを見つけ出すにはどうすればよいか意見交換しました。今回は2月29日(木)、報告者は(株)フィットコーポレーション 勝俣智史氏(プロジェクト担当理事・御殿場支部)です。お知り合いの経営者・後継者の方とぜひご参加ください！



鈴木 茂氏

スコップとビールの会

課題や取り組みを掘り下げ、交流を深める

県組織増強委員会主催で初の開催となった「スコップとビールの会」。1/16（火）に中部（富士・富士宮・静岡）、1/22（月）に西部（志太・榛南・中遠・浜松）、1/24（水）に東部（伊東・御殿場・三島・沼津）の各エリアで開催されました。各支部の組織づくりに関する取り組みや課題を共有し、ヒントを得られる場になると同時に、支部の中心となっているメンバー、支部を越えた交流を深めるきっかけにと企画。東部は16名、中部は14名、西部は19名が参加し、情報共有と交流を深めました。江間組織増強委員長から「仲間が増えることで学びが深まる。自分自身、自社、地域の成長・発展のために同友会の仲間を増やしていきましょう」と各エリアで呼びかけました。

〔江間省豪組織増強委員長よりメッセージ〕
静岡同友会は2023年度12000名会員（2024.1月末時点で1111名）の達成を目標に掲げ、「会員増強は経営者ができる最大の地域貢献」を合言葉に活動を推進しています。ぜひ、お知り合いの経営者、一人で悩んでいる経営者、共に学ぶ仲間を増やし楽しく学び多い活動を広げていきましょう！

県組織増強委員会主催で
新たなイベント！
学びと交流を深めました。



西部スコップとビールの会



中部スコップとビールの会



東部スコップとビールの会

静岡大学連携講座

第12講

12月20日（水）

「生きること、働くこと、学ぶこと」

講師：古川 一郎氏

（株）一電工・三島支部



三島市で電気工事業を営む古川氏。社会人時代はお金のために働き、趣味は充実していたものの夢を見つけれずいました。離職し当てのない旅を続け「一生モノの仕事をやりたい」と電気工事業界に入った古川氏。「10年後は何をしている？」という言葉が自分の将来を決めるきっかけになり、流されてたどりがいた場所が独立開業でした。信頼してくれるお客様のために仕事をする楽しさを見出し、人生をかけてこの仕事をしていきたいと確信。現在は法人化し社員も雇用しています。最後に学生に「生きること、働くこと、学ぶことは繋がっている。何を学び、どう生きていくか10年先の目標を立てていってほしい」と話しました。

第14講

1月10日（水）

「働いて生きる」ということ

講師：遠藤 健正氏

（有）大橋商事・中遠支部



磐田市で廃棄物処理業、再生資源買取業を営む（有）大橋商事。遠藤氏が同社で働き始めるまでの経験、働き始めてから見出した働

第15講

1月17日（水）

「NO NUKES—ゴキ—の海は忘れない」

講師：杉村 征郎氏

（杉村精工（株）・志太支部）



平和の尊さを伝える為、忘れてはいけない第五福竜丸被ばく事件。当時中学生だった杉村氏は、第五福竜丸が焼津港に帰港してからの様子を目の当たりにし、仲間と共に「原水爆反対」署名活動に取り組みます。その後、全国から3000万もの署名が集まり、日本、また世界中の人々が原水爆の脅威を知ることになりました。現在の核兵器反対の運動に繋がっていきます。事実を知ることの大切さと平和への想いを語り、最後に学生へ「先入観にとらわれずに勇気をもって学び、歴史的に、多面的に、本質的に物事を考えられる人になってほしい」と伝えました。



静岡県中小企業家同友会 祝50周年記念事業
NEXT50フォーラム～誰ひとり取り残さない～

2024年11月28日(木)ホテルグランヒルズ静岡にて開催！！
今からぜひご予約ください！

2月・3月

DOYU CALENDAR

2月16日(金)～3月15日(金)

2月16日(金)	県障がい者問題委員会オープン勉強会 (19:00 静岡駅前会議室LINK B館301) 女性部ダイヤモンドカレッジ (14:00 松岡カッター製作所&ZOOM)
19日(月)	県共育委員会 (18:30 ZOOM)
20日(火)	静岡大学との意見交換会 (13:45 静岡大学 静岡キャンパス)
21日(水)	女性部幹事会 (10:30 ZOOM) 伊東・三島支部合同例会 (19:00 生涯学習センターひぐらし会館) 沼津例会 (19:00 プラサヴェルデ) 志太例会 (18:30 藤枝文化センター&ZOOM)
22日(木)	県理事会 (15:00 会場メイン&ZOOM) 県組織増強委員会 (17:30 同友会事務局&ZOOM)
27日(火)	県例会企画委員会 (18:30 ZOOM)
29日(木)	Next50フォーラム幹事会 (16:00 同友会事務局&ZOOM) イントロセミナー (19:00 同友会事務局&ZOOM)

3月6日(水)	正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
7日(木)～8日(金)	第54回中小企業問題全国研究会in三重 (13:00 三重県総合文化会館)
11日(月)	Next50フォーラム実行委員会 (16:00 会場調整中)
12日(火)	静岡例会 (19:00 ペガサート) 第2回富士宮市中小企業相互交流促進事業 (12:15 川崎市産業振興会館/新川崎・創造のもり/川崎市内企業)
13日(水)	連合静岡との懇談会 (春闘要請&意見交換) (10:30 同友会事務局) 御殿場例会 (19:00 エピ・スクエア)
14日(木)	浜松例会 (19:00 ザザシティ浜松 こども館5F)
15日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川バイパス店& ZOOM)



《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》

(株)Regainico・静岡支部

米森良偉氏



グループ討論の進め方を学び合う

この研修を通じて、グループ長の役割がバズセッションの成果に大きく影響することを痛感しました。司会進行の技術だけでなく、参加者全員の意見を引き出し、深い学びへと導く能力の重要性を再認識する機会となりました。異なる背景を持つ経営者たちから様々な視点での意見が出される中、それらを統合し、全員が参加しやすい環境を作り上げることがグループ長には求められます。各自が貴重な時間を割いて参加していることを尊重し、感動と満足感を得られるセッションを実現することは、まさにグループ長の責務です。思考を深め、バズセッションの目的を達成させるための時間配分や、全体の意見をまとめるスキルは、経営においても直接役立つ重要な能力だと感じました。この研修で得た知見は、社内コミュニケーションの質を高めるための貴重なものとなりました。

今年度3回目となるグループ長研修。2月2日開催の青年部東海合同例会を見据え、県例会企画委員会と県青年部が主催となり開催しました。当日は会場・ZOOM合わせて24名が参加。事業承継をテーマにした水野友太郎氏(株)榛南自動車学校・榛南支部)の報告をもとにグループ長の役割や意義を学び合いました。参加者から感想を頂きましたのでご紹介します。

1月24日(水) 静岡産学交流センターペガサート

県例会企画委員会・青年部高関催グループ長研修
グループ長研修は
自社経営にも生きる

第49回景気動向調査(2023年12月期)冊子を掲載しています！

地域の景況感・各業種の業況等を的確に捉え、企業経営と同友会活動に生かすことと共に、地域経済活性化の一助として、1999年5月から統計を開始し、今期で49回目(年2回/6月・12月調査)を迎えました。調査結果は当会を始め、県政、大学機関、報道関係者等に広く公表し、地域社会の公共財の認識の下に活用しています。業況判断、地域別、業種別、従業員数毎に統計を行い、現在は静岡大学の太田隆之准教授、山本義彦名誉教授(同友会顧問)、当会政策委員会メンバーが分析・執筆に関わっています。

